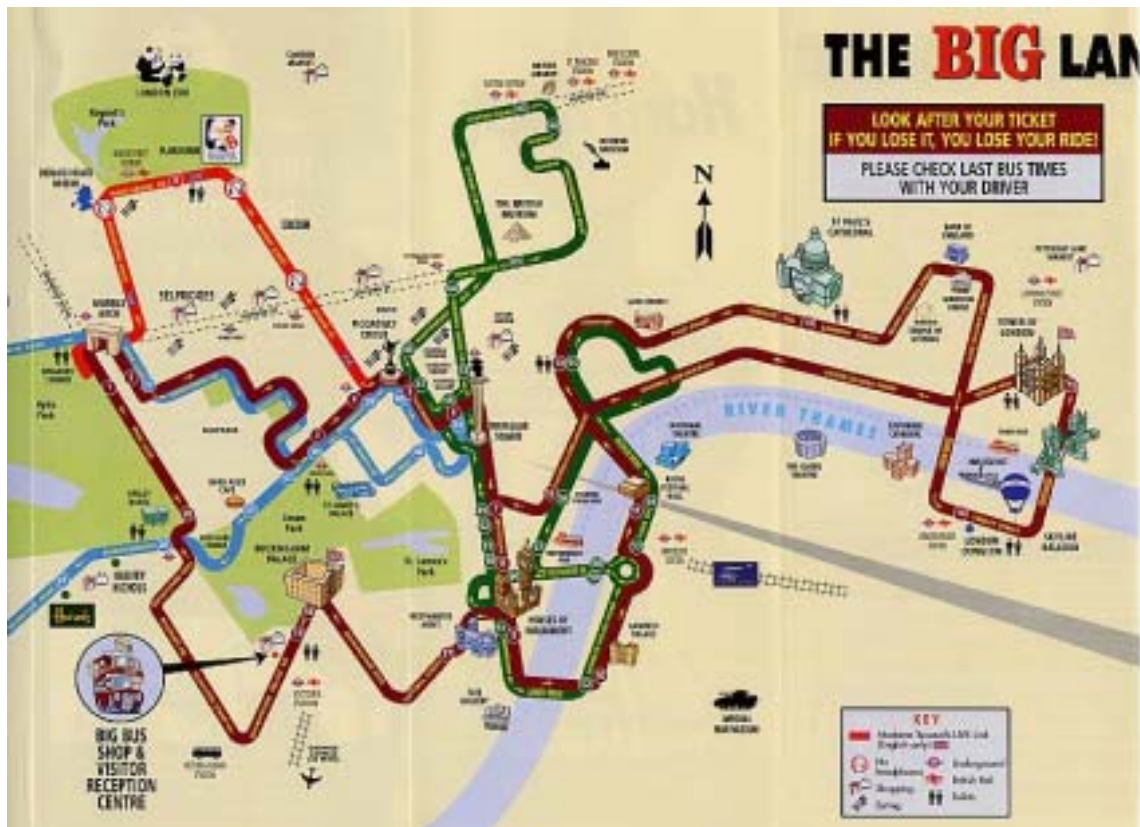


英国南部旅行(1999)

3. ロンドン市内観光と買い物

1999.07.20.(火)

午前中、ホテルで前日に予約しておいた市内観光バスに乗った。ルートはいくつかあったが市の中心をカバーしているルートを選んだ(図の茶色のルート)。観光バスの出発点はハイドパークの北東角のマープル・アーチ(Marble Arch)にあり、そこでガイド用のイヤホンを渡され、座席にあるジャックに差込み言語(日本語)を選択して説明が聴ける仕組みである。



経路はマープル・アーチ(Marble Arch) - メイフェア(Mayfair) - グリーン・パーク(Green Park) - ピカデリー・サーカス(Piccadilly Circus) - ヘイ・マーケット(Haymarket) - トラファルガー広場(Trafalgar Square) - バンケティング・ハウス(Banqueting House) - ホワイトホール宮殿(Whitehall) - 国会議事堂広場(Parliament Square) - ランベス宮(Lambeth Palace) - ウォータールー(Waterloo) - コヴェント・ガーデン(Covent Garden) - セント・ポール大聖堂(St. Paul's) - ロンドン橋(London Bridge) - ロンドン塔(Tower of London) - チャーリング・クロス・ピア(Charing Cross Pier) - バンケティング・ハウス(Banqueting

House) - ホワイトホール宮殿(Whitehall) - ウェストミンスター寺院(Westminster Abbey) - バッキンガム宮殿(buckingham Palace) - ロイヤル・ミューズ(Royal Mews) - パーク通(Park Lane)で、乗り降り自由であったが乗り降りせずに回ったので約 2 時間のコースであった。



バスツアーのスナップを 4 枚掲載する。左上：観光バス、右上：ホテルリッツ前の観光バス、左下：大英博物館、右下：ホース・ガーズ

午後からはナイツブリッジとケンジントン周辺を散策した。ナイツブリッジの地下鉄の駅の改札口の近くにシティバンクと提携している現金自動支払機があり日本のカードが使用できるので、まず 200 ポンド現金を引き出した。世の中は非常に便利になったもので現地通貨を日本から持っていかなくてもいつでも現地通貨を入手できるようになった。ナイツブリッジ駅から南西に伸びる Brompton 通りにあるアクアスキュータム(Aquascutum)、スコッチ・ハウス(Scotch House)、ローラ・アッシュレイ(Laura Ashley)、ハービー・ニコルズ(Harvey Nicholls)、ハロッズ(Harrods)、セルフリッジ(Selfridges)などを見て回った。また、ナイツブリッジ駅から南に伸びる Sloane 通りにはルイ・ヴィトン(Louis Vuitton)、カルティエ(Cartier)、エルメス(Hermes)、ヴァレンチノ(Valentino)、イエーガー(Jaeger)、

コーチ(Coach)、グッチ(Gucci)、シャネル(Chanel)、サン・ローラン(Saint・Laurent)、プラダ(Prada)など欧州の有名店があり、その前を通り、Sloane Square 近くの The General Trading Company の中庭で昼食を済ませた。

ニューヨークは人種の坩堝とよく言われるが、ロンドンもそれに匹敵するレベルにあると感じた。特に、アラブ人の姿が目についた。

ロンドンのバスと地下鉄は非常に発達しているが東京にはかなわないと思った。東京が世界一の都市交通網を持っているのを実感した。しかし、バスと地下鉄を利用すると市内をくまなく見て回れる感じである。